

ジオパーク活動の現状について

- ・ 日本ジオパークネットワーク室戸大会（11/2～11/5）

参加者が議論をする時間をできるだけ長く、という趣旨でプログラムが編成され、活発な議論が分科会、およびガイドの集会やジオパークにおける無形文化財に関する集会など有志が企画した小集会で行われた。JGN 大会が日本のジオパークの方向性を議論する場として重要になりつつある。

- ・ 地域、学会等で行われたジオパークに関するシンポジウム等

JGN 大会以外にも、各地のジオパーク関係者が集まって議論をする場がいくつかあった。これ以外にも、講演会やガイド講習会などの場でジオパーク同士が講師を派遣し合い、そうした機会に相互に情報交換などを行うことが一般化している。

東北ジオパークフォーラム（9/27-9/28）

日本地理学会シンポジウム（10/7）

山陰海岸ジオパークシンポジウム（11/23-11/24）

- ・ GGN とユネスコの関係

ジオパークのユネスコイニシアチブ化に向けた提案を GGN とユネスコ生態地球科学部で準備中。GGN から加盟地域に対して、年 1000 ユーロ会費を徴収することは可能かとの打診があり、日本の 5 地域は可能であると返答した。さらに追加的な資金を確保する方策を検討中。